

講座 国際農林経済学

2.6.4 研究分野：食料・環境政策学

構成員：	教授	武部 隆
	准教授	伊藤 順一
	助教	北野 慎一
	大学院博士後期課程	0名
	大学院修士課程	2名
	専攻4回生	5名

A. 研究活動（2010.4～2011.3）

A-1. 研究概要

a) 食料政策および農業・環境政策

世界と日本の食料問題ならびに農業・環境問題を対象に、経済学的また政策論的な観点から、問題解明のための諸方策の検討と考察を行う。すなわち、農業に固有の技術的・商品的特性と産業構造を踏まえて、農業が果たすべき食料の安定的供給と、国土・環境保全などの多面的機能の発揮のあり方を、理論的・実証的方法を用いて明らかにし、さらに、そこで得られた研究成果を教育に還元する。

b) 中国農民專業合作社のミクロ経済分析

中国の農民專業合作社が国内外で注目を集めている理由は、それが「三農問題」の核心部分である都市・農村間の所得格差を是正し、農民の経済的地位の向上に資すると考えられているからである。そこで本研究では計量経済学的手法を用い、合作組織に参加する農民の動機や組織による農家選別の基準を明らかにしながら、事業の農家経済に及ぼす影響を検討した。実証は江蘇省南京市の農村で独自に収集したデータを用いて行った。合作社は小規模経営の入社を制限しているが、自己選択の結果として入社を躊躇している農家も少なくない。また、事業の効果は小規模層についてのみ検出され、大規模層では統計的に有意ではなかった。このことは、合作社に対する農民自身の無理解や、事業への参加を制限している入社資格が、小規模農家から所得向上の機会を奪っていることを示唆している。

c) 資源利用の経済評価

農地をはじめとする地域資源に関して、その利用・保全と管理の現状を、資源経済学、環境経済学、組織経済学、地理情報システム等の方法および手法により総合的に分析・評価し、また今後のあるべき方向について考察する。

d) 非営利団体の活動の分析

近年、福祉向上・社会教育充実・環境改善・人権擁護等のような社会的課題の解決に、非営利な団体の活動ならびにそれら非営利な団体のネットワーク的な活動が、有効に機能するのではないかという期待が高まりつつある。このようななか、非営利団体の活動ならびにそれら団体のネットワーク的な活動が、日本の農業および農村環境にもたらす影響について、理論的かつ実証的に考察を加える。

A-2. 研究業績（国内・国外含む）

a) 成果刊行

著書

・北野慎一：里山の価値と地域再生への人づくり．里山復権（中村浩二・嘉田良平編，創森社）；125-139，2010．

原著論文（書評論文を含む）

・武部 隆：株式会社の農地取得による農業参入の制度と課題(査読有)．京都大学生物資源経済研究，第16号；1-16，2011．

・伊藤順一・包宗順・蘇群：PSM法による農民專業合作組織の經濟効果分析－中国江蘇省南京市スイカ合作社の事例研究－（査読有）．アジア經濟（アジア經濟研究所），第51巻第11号；44-73，2010年．

・伊藤順一：農村共有資源の管理と農民間の協調行動－中国雲南省における灌漑管理の事例分析（査読有）．『經濟研究（一橋大学經濟研究所）』，第61巻第4号；289-301，2010年（査読有）．

・Ito, J.: Inter-regional difference of agricultural productivity in China: distinction between biochemical and machinery technology（査読有）．China Economic Review 21(3): 394-410, 2010.

・伊藤順一：中国農民專業合作社のミクロ經濟分析『平成22年度カントリーレポート 中国』（査読無）．農林水産生産研究所；43-80，2011．

・アハポフ=エルラン・小西良明・北野慎一：カザフスタンにおける牧畜の変遷に関する概説（上）（査読無）．農村問題調査研究報告第66号；21-41，2010．

・アハポフ=エルラン・小西良明・北野慎一：カザフスタンにおける牧畜の変遷に関する概説（下）（査読無）．農村問題調査研究報告第67号；21-46，2010．

・富吉満之・北野慎一：農山漁村地域における民間非営利活動の規定要因-石川県珠洲市のNPO法人を事例として-（査読無）．農村問題調査研究報告第67号；3-20，2010．

報告書・その他

・北野慎一，書評「日本農業年報＜56＞民主党農政－政策の混迷は解消されるのか」，農業と經濟，76(13)；2010年12月

A-3. 国内における学会活動など①

所属学会等（役割）

・武部 隆：環境経済・政策学会、日本農業経済学会、地理情報システム学会、日本農業法学会、日本農業経営学会

・伊藤 順一：日本経済学会、日本農業経済学会

・北野 慎一：日本農業経済学会、環境情報科学会、漁業経済学会、農村計画学会

A-3. 国内における学会活動など②

競争的資金等獲得状況

②その他の競争的資金

・地球環境学堂 若手教員に対する研究助成：北野慎一：農林漁業分野における非営利団体の存立要件の解明～過疎高齢化が進行する農山漁村地域をフィールドとして～

・大学・地域連携研究プロジェクト支援事業(石川県)：研究代表者：中村浩二(金沢大学)
研究分担者：北野慎一：能登半島の「里海」の保全・活用に向けた学際的調査研究と政策提言～自然と共生し、持続可能な地域づくりを目指して

A-4. 国際交流・海外活動①

所属学会等（役割）

・伊藤 順一：農業経済・応用経済学会、農業経済学会

B. 教育活動（2010.4～2011.3）

B-1. 学内活動

a) 開講授業科目（担当教員）

- ・ 全学共通科目： 環境農学論（武部（分担））、世界の食料・農業・環境—持続可能社会に向けて—（武部（分担））
- ・ 学部： 調査研究方法実習ⅠⅡ（武部、北野）、食料・環境政策学（武部）、食料・環境政策学演習ⅠⅡⅢ（武部、伊藤、北野）
- ・ 大学院： 食料・環境政策学ⅠⅡ（武部）、食料・環境政策学専攻演習ⅠⅡ（武部、伊藤、北野）

B-3. 国際的教育活動②

海外での講義・講演

- ・ 伊藤順一

Measuring the impact of agricultural cooperatives on farm income using PSM(講師):
中国農業科学院(中国)

C. その他

- ・ 武部 隆：門真市個人情報保護審査会委員、豊かなむらづくり全国表彰事業近畿ブロックむらづくり表彰審査委員会委員、京都府農業会議専門員、特定非営利活動法人世界遺産ネットワーク監事